

# CA Project & Portfolio Management



## 15.2 CA PPM

リソース管理ツールの再構築によるタスクの簡略化、コラボレーションの推進、アクションの促進

### 概要

#### 課題

自宅でテクノロジーを利用しているユーザは、職場で使用するツールにも同じ使いやすさと直観性を期待します。しかしエンタープライズツールは変化のペースに対応できていません。多くの製品ポートフォリオ管理 (PPM) ソリューションでは、リソース・マネージャはワークフロー全体を構築する必要があります。また、リソース管理の基本的なコンポーネントを確認し、スタッフの作業内容を見るだけでも、多数の画面を移動することを余儀なくされています。また、リソース・マネージャから指摘されているのは、日常のタスクの実行、他のスタッフとの状況に応じたコミュニケーション、重要な情報へのドリルダウン、リソースのフィールドの絞り込み、資金面とモデルの結果の予測などを行える簡単な方法がないということです。

#### ビジネス・チャンス

CA はリソース・マネージャに真の価値を提供するために、CA Project & Portfolio Management (CA PPM) ソリューションを刷新しました。このソリューションでは以下の 4 つの真実を重視しています。

- 人材配置は単なる承認プロセスではなく、協調と交渉のプロセスであること。
- リソース管理のために設計された複雑な検索アルゴリズムは、ほとんど役に立たないこと。
- 共通の人材配置の問題を解決する鍵は、焦点を絞ることであること。
- アプリケーション・エコノミーでは他のすべてと同様に、日常業務もスピード、簡略化、直観的な処理が不可欠であること。

#### メリット

新しい CA PPM ソリューションでは、管理者や部署、関係するチームにかかわらず、リソース・マネージャやプロジェクト・マネージャに単一の情報源が提供されます。つまり、1 つのソリューションであらゆるタイプのプロジェクトを管理できます。

### 一元的な可視性によって人員配置を簡略化

企業全体での人員の割り当てに関する情報は、すぐ利用できることが重要です。これにはまず、1 つに統合されたビューが必要です。リソース・マネージャはこのビューでスタッフ全員のアクティビティと、待機中のすべての作業を把握できます。

リソースの一元管理は PPM の基盤です。PPM を介してマネージャは自分の業務に関連するほとんどすべての機能を実行できます。各社員がどのプロジェクトに取り組んでいるか、あるいは各社員の現在の割り当て率についてドリルダウンできます。また、スタッフのビューとプロジェクト・ビューを簡単に切り替えられるため、相互関係を明確に理解して相互依存性を評価できます。承認を必要とする人材配置要求についてのアラートを受け取り、他のチーム・メンバーの作業予定との関連で各要求を評価できます。Microsoft® Excel® のような最初から使いやすいパラダイムを使用して、組織にとってより適切な調整を追求できます。

PPM ではワークフローを開始したり要求に対処したりする必要がなく、簡単な方法でリソースの要求と承認を行えます。直観的、簡単、かつ非常に視覚的で、複雑なナビゲーションは必要ありません。

図 1

リソース管理：

リソースの一元管理は CA PPM にとって重要な基盤です。

		2017-02	2017-03	2017-04	2017-05	2017-06	2017-07	2017-08	2017-09	TOTALS
		FTE	FTE							
Pinned (0)   ALL		10.00	9.85	9.20	9.00	8.40	8.15	7.95	7.73	8.67
>	Andy Cooper	0.90	0.80	0.65	0.65	0.65	0.50	0.50	0.50	0.80
>	Brian Robinson	0.70	0.70	0.70	0.70	0.65	0.65	0.65	0.65	0.63
>	Diane Durand	1.00	1.00	1.20	1.20	0.80	0.80	0.60	0.60	0.84
>	Drew Davis	0.70	0.70	1.20	1.20	1.10	1.00	1.00	0.80	0.92
>	Hank Fisher	0.85	0.85	0.65	0.55	0.50	0.50	0.50	0.50	0.60
>	Mike Jones	0.90	0.90	0.90	0.80	0.80	0.80	0.80	0.60	0.75
>	Paul Pryor	1.00	1.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.98	0.84
>	Peter Phillips	1.00	0.95	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.60	0.72
>	Ray Fowler	0.95	0.95	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.58
>	Sid Patel	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
>	Tim Thone	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

		2017-02	2017-03	2017-04	2017-05	2017-06	2017-07	2017-08	2017-09	TOTALS
		FTE	FTE							
		1.00	2.00	3.20	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.62
>	Business Architect	0.50	1.00	1.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.57
>	QA	0	0	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.23
>	SW Engineer	0	0	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30
>	Systems Analyst	0.50	1.00	1.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.51

## 財務予測とモデル化

財務予測は通常のリソース管理ツールには備わっていませんが、リソース計画にとって重要なコンポーネントです。CAはこの機能を追加し、リソース・マネージャが予算に合わせて計画をモデル化し、人員数をビジネス・イニシアチブに対応させられるようにしました。ユーザはリソースと、リソースが投資にどう結びついているかを表示したり、画面を切り替えて投資と、投資がそれぞれどう結びついているかを表示したりできます。

各リソースに評価を適用することで、ユーザは割り当ての観点から財務モデルのシナリオを実行できます。人件費がプロジェクトの予算を圧迫している場合も、マネージャは代替案を容易に模索できます。たとえば、チェコ共和国のプラハの人材は米国の人材より安価であることに気がついたり、その価格を入力して予測にどう影響するかを評価したりできます。これらの財務機能は自動的に包括的なビジネス予測にフィードされます。

予測をリソース計画に統合することで、エンタープライズ・アジリティが推進されます。企業はスタッフが何に取り組んでいるか、そのコストはいくらか、そして変数の調整がそのコストにどう影響するかを把握できなければ、競争上の脅威に対応するための方向転換はできません。

図 2

## 財務予測：

各リソースに評価を適用することで、ユーザは割り当ての観点から財務モデルのシナリオを実行できます。

	2017-02		2017-03		2017-04		2017-05		2017-06		TOTALS	
	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST
<b>ALL</b>	<b>10.00</b>	<b>202,720</b>	<b>9.85</b>	<b>230,000</b>	<b>9.20</b>	<b>192,320</b>	<b>9.00</b>	<b>215,464</b>	<b>8.41</b>	<b>8.11</b>	<b>1,822,084</b>	
Andy Cooper	0.90	17,280	0.80	17,664	0.65	12,480	0.65	14,352	0.6	0.61	127,824	
Brian Robinson	0.70	16,800	0.70	19,320	0.70	16,800	0.70	19,320	0.6	0.59	153,300	
Diane Durand	1.00	13,440	1.00	15,456	1.20	23,040	1.20	26,496	0.8	0.87	168,384	
Drew Davis	0.70	13,440	0.70	15,456	1.20	23,040	1.20	26,496	1.1	0.86	178,848	
Hank Fisher	0.85	21,760	0.85	25,024	0.65	16,640	0.55	16,192	0.5	0.55	153,600	
Mike Jones	0.90	21,600	0.90	24,840	0.90	21,600	0.80	22,080	0.8	0.72	188,400	
Paul Pryor	1.00	25,600	1.00	29,440	0.70	17,920	0.70	20,608	0.7	0.66	184,688	
Peter Phillips	1.00	16,000	0.95	17,480	0.70	11,200	0.70	12,880	0.7	0.68	118,680	
Ray Fowler	0.95	15,200	0.95	17,480	0.50	8,000	0.50	9,200	0.5	0.56	97,000	
Sid Patel	1.00	16,000	1.00	18,400	1.00	16,000	1.00	18,400	1.0	1.00	173,600	
Tim Thone	1.00	25,600	1.00	29,440	1.00	25,600	1.00	29,440	1.0	1.00	277,760	

	2017-02		2017-03		2017-04		2017-05		2017-06		TOTALS	
	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST	FTE	FORECAST
<b>Business Architect</b>	<b>0.50</b>	<b>12,000</b>	<b>2.00</b>	<b>49,680</b>	<b>3.20</b>	<b>68,640</b>	<b>1.40</b>	<b>34,960</b>	<b>1.40</b>	<b>1.75</b>	<b>404,504.43</b>	
QA	0	0	0	0	0.30	4,800	0.30	5,520	0.30	0.31	53,680	
SW Engineer	0	0	0	0	0.30	7,680	0.40	11,776	0.40	0.27	75,568.43	
Systems Analyst	0.50	9,600	1.00	22,080	1.30	24,960	0.30	6,624	0.30	0.55	115,296	

## コミュニケーション。交渉。コラボレーション。

人員配置は単純なプロセスだと考えられがちですが、実際はそうではありません。リソース・マネージャは証明できるでしょうが、人員配置は適切なスキルを持つスタッフを探すだけの簡単なことではありません。スキルセットは重要な要素ですが、それぞれの割り当てには人材が必要な時期、人材の都合がつく時期、人材が確保できないことがビジネス成果物に与える影響など、複数の追加条件が伴います。

優れた人材は必然的に需要が高いため、人材配置には協調的な交渉を行うことが必要です。最適な人材を最適なタイミングで確保するには、リソース管理ツールから状況に応じたコミュニケーション、交渉、コラボレーションを行う必要があります。

CAはソーシャル・コラボレーション・ツールをPPMソリューションの中心的な要素として組み込みました。ユーザは関連トピックについていくつでもコミュニケーションでき、ツールを終了せずにすぐ回答を受け取れます。会話に参加していない人物に情報を要求されたときは、ブラウザまたはEメールを介して@mention通知を送信できます。クリック1つで受信者に会話の詳細が表示され、受信者は通知を介して直接応答できます。

この新しい機能によってユーザは、手助けしてもらえらる可能性がある他のステークホルダーと状況に応じたやり取りをしながら、いくつでも問題に対応できます。協力し合って問題を評価でき、それに対応するオプションを調べ、即座のアクションをとることができます。

プロジェクト・マネージャはCA PPMを使用して、優先度の高いプロジェクトで必要とされている週にDianeは都合がつかないが、翌週には対応できることを確認します。これはワークフローや高度な検索アルゴリズムでは状況を解決できません。交渉が必要でした。

たとえば、PMがツールを介してリソース・マネージャに、Dianeは配置換えが可能か問い合わせます。Dianeは予定が埋まっていたが、Andyは都合がつかないことがわかり、協議の結果、Andyは適切なスキルセットを有しているという結論に達しました。PMはAndyにその仕事を割り当てることに同意し、スケジュールを予約して協議を終わりました。電話もEメールも、廊下での話し合いも必要ありません。コラボレーションをプロセスの1部として組み込むことで、パワフルなソリューションとなっています。

図 3

## 協調的な交渉：

人材配置には協調的な交渉が必要です。

The screenshot displays the CA PPM interface. The main window shows a resource allocation table for 'Logistics Management (P11037)'. The table is organized by resource manager (Andy Cooper, Diane Durand, Drew Davis) and project activities. It shows FTE (Full-Time Equivalent) requirements for 2017-02 through 2017-05. A 'Systems Analyst' resource is highlighted, showing a requirement of 1.00 FTE in 2017-03, 1.20 FTE in 2017-04, and 1.20 FTE in 2017-05. A 'Requests' table below shows the current allocation for various roles, including Business Architect, QA, SW Engineer, Systems Analyst, and Streamline BU Processes.

	2017-02	2017-03	2017-04	2017-05
<b>FTE</b>	<b>2.60</b>	<b>2.50</b>	<b>3.05</b>	<b>3.05</b>
<b>Andy Cooper</b>	<b>0.90</b>	<b>0.80</b>	<b>0.65</b>	<b>0.65</b>
Collaboration Initiative	0.40	0.40	0.40	0.40
Industry Trade Show	0.40	0.40	0.25	0.25
Personalized online shop...	0.10	0	0	0
<b>Diane Durand</b>	<b>1.00</b>	<b>1.00</b>	<b>1.20</b>	<b>1.20</b>
Collaboration Initiative	0.50	0.50	0.60	0.60
Industry Trade Show	0.20	0.20	0.20	0.20
Minimal Online Shoppi...	0	0	0.20	0.20
Modernize customer serv...	0.10	0.10	0	0
Personalized online shop...	0.20	0.20	0.20	0.20
<b>Drew Davis</b>	<b>0.70</b>	<b>0.70</b>	<b>1.20</b>	<b>1.20</b>

	2017-02	2017-03	2017-04	2017-05
<b>FTE</b>	<b>1.00</b>	<b>2.00</b>	<b>3.20</b>	<b>1.40</b>
Business Architect	0.50	1.00	1.30	0.40
QA	0	0	0.30	0.30
SW Engineer	0	0	0.30	0.40
<b>Systems Analyst</b>	<b>0.50</b>	<b>1.00</b>	<b>1.30</b>	<b>0.30</b>
Logistics Management			0.30	0.30
Streamline BU Processes	0.50	1.00	1.00	

The right-hand side of the screenshot shows a 'CONVERSATIONS' window for the 'Systems Analyst' resource. It contains a chat history with messages from Barb, Derrick Joseph, and Barb Hudson, discussing the need for a Systems Analyst and resource allocation for the Logistics Management project.

## アダプティブ・プロジェクト管理にもコラボレーションが必要

最近の傾向として不定期のプロジェクト管理が増えており、これは市場に大きく影響しています。従来のプロジェクト・マネージャは正式に研修を受け PMI 認定を取得していましたが、臨時のプロジェクト・マネージャは従来とは異なり、プロセスよりもほとんどデリバリだけを重視する傾向があります。

そのため、状況に応じたコミュニケーションに重点を置く、もっと直観的なプロジェクト管理ソリューションと、生産性および成果の向上が重要になっています。リソース管理について、CA はこうした新しい要件に対応するために設計されたプロジェクト管理コラボレーション機能を提供しています。

コラボレーションはメッセージを送るだけのツールではありません。組織内の知的資本を最大限に生かし、アジリティを促進し、創造性を向上させ革新的な製品の市場投入を可能にする方法です。

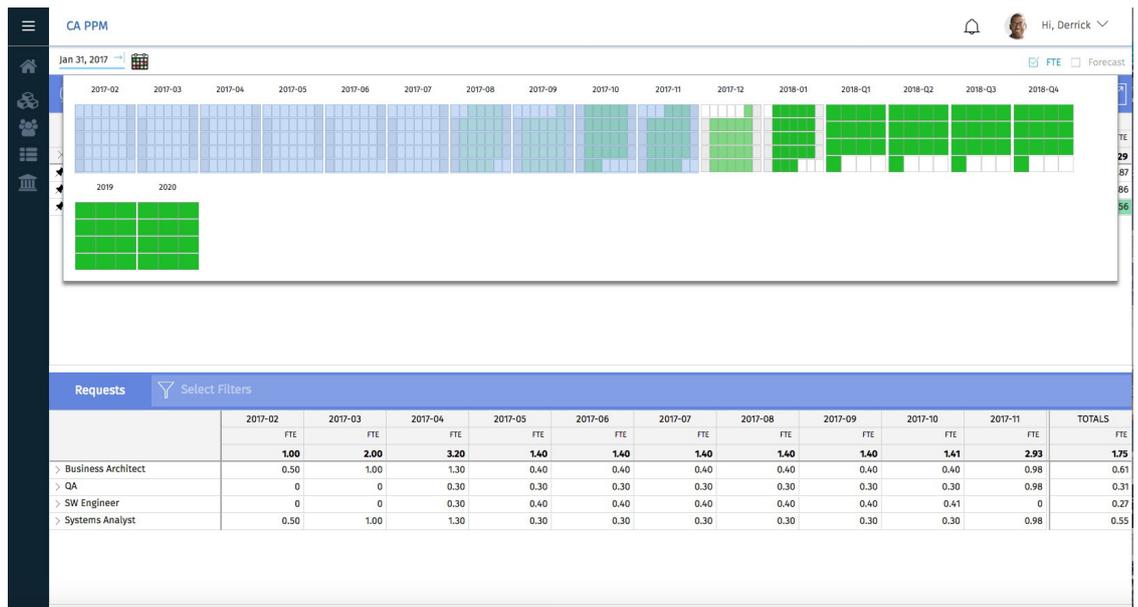
## 適切な人材を適切なタイミングで確保

リソース・マネージャが完璧な資格を持つ完璧な候補者を見つけるための絞り込みを目的とした検索ツールを、多くのベンダが販売していますが、これらのツールが役に立つことはまれです。変数や考慮すべき状況がありすぎて、フィルタが効果的に機能しないのです。

図 4

### リソースのテレスコーピング:

スケジュールの都合がつきスキルセットもある最適な候補者を迅速に特定できます。



## 焦点を絞って大きな問題を解決

計画はすべて同じではありません。リソース・マネージャは短期的に詳細な計画を立て、将来についてはもっと長期的な視野で見る傾向があります。CA PPMの計画タイムスケール機能を使用すれば、マネージャは独自の短期、中期、長期の計画範囲を定義することが可能です。マネージャがリソースの問題の追跡に短期的には週次ベース、中期的には月次ベース、長期的には四半期ベースを選択していても、これらのタイムスケールをナビゲートしていくと、リソースのボトルネックとなる人材配置の問題が目につくようになっていきます。

問題に気がついたら、テレスコーピングによってその期間を絞り込み、特定の問題に関するもっと詳細な情報を得ることができます。タイムスケールを絞り込むことで、誰が問題の解決に対応可能かを明確にできます。たとえば次の四半期のための計画プロセスで、マネージャが中期的な計画範囲を表示しているときにリソースの問題に気がついたとします。全体像から特定の期間へ絞り込むことで、

特定の社員の業務割り当てが過剰であることを確認できます。この期間のチームを全員表示すると、マネージャは割り当てが少ない社員は誰かを確認でき、この社員が追加の業務を担うのに適切なスキルセットを備えているかどうかを確認できます。ここでマネージャはドラッグ・アンド・ドロップでチーム全体にロード・balancing機能を使用し、異なるシナリオをテストした上で、最終的にプロジェクトの再割り当てを行えます。ワークフローも多数の画面の切り替えも必要ありません。

PPMによってマネージャは将来的なリソースの問題を視覚化でき、人材配置の問題が起きる前に、余裕を持って問題を簡単に解決できます。

テレスコーピングによってリソース・マネージャは、短期的にはきめ細かく、長期的には大まかな計画にするというように、実際の計画の仕方を設計できます。

## 問題の特定と解決

ピン留めもリソース・マネージャが人材配置の問題に対処するために役立つ機能です。人材配置の問題と、考えられるソリューションが視覚的に離れていることがよくあるからです。

たとえば以下のようなシナリオがあります。Andy は過剰な業務を抱えています、Drew は来週予定が空いています。アルファベット順のリストでは、Andy と Drew は数ページも離れていることがあります。しかし、テスコーピング機能を使用し、問題がある対象期間にビューを絞り込んだ後、ピン留め機能を使用すると、候補者を分離して比較することが可能です。Andy と Drew をピン留めすると、他の候補者は表示されません。これで問題の解決にとって的確な期間と的確な人材だけに焦点が当たります。人材配置の問題を特定し、ピン留め機能によって表示フィールドを絞り込むことで、マネージャは Excel に似た簡単なツールを使用して、これら 2 人の間で業務のバランスをとることができます。

同様に、リソース・マネージャが特定の期間にアーキテクトを必要としている場合を想像してみてください。数十人、数百人のチームの中から適切な資格を探すのではなく、都合のつくアーキテクトを 2、3 人ピン留めするだけで、別のビューに表示して簡単にこれらの人材を評価できます。最小限のフィールドで作業する方が、ずっと容易です。

ピン留め機能によって、リソース・マネージャは問題に焦点を当て、考えられるソリューションを選択して評価でき、迅速な行動をとれます。

図 5

### リソースのピン留め:

ピン留めは特定の候補を分離して表示するプロセスです。

The screenshot shows the CA PPM interface with a resource allocation table. The table has columns for months from 2017-02 to 2017-11 and a TOTALS column. The rows represent resources: Diane Durand, Drew Davis, and Ray Fowler. The 'PINNED (3)' filter is active, showing only these three resources. The table is color-coded: red for high utilization and green for low utilization.

	2017-02	2017-03	2017-04	2017-05	2017-06	2017-07	2017-08	2017-09	2017-10	2017-11	TOTALS
<b>FTE</b>	<b>2.65</b>	<b>2.65</b>	<b>2.90</b>	<b>2.90</b>	<b>2.40</b>	<b>2.40</b>	<b>1.90</b>	<b>1.90</b>	<b>1.60</b>	<b>1.60</b>	<b>2.29</b>
Diane Durand	1.00	1.00	1.20	1.20	0.80	0.90	0.60	0.60	0.70	0.70	0.87
Drew Davis	0.70	0.70	1.20	1.20	1.10	1.00	0.80	0.80	0.60	0.50	0.86
Ray Fowler	0.95	0.95	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.30	0.40	0.56

	2017-02	2017-03	2017-04	2017-05	2017-06	2017-07	2017-08	2017-09	2017-10	2017-11	TOTALS
<b>FTE</b>	<b>1.00</b>	<b>2.00</b>	<b>3.20</b>	<b>1.40</b>	<b>1.40</b>	<b>1.40</b>	<b>1.40</b>	<b>1.40</b>	<b>1.41</b>	<b>2.93</b>	<b>1.75</b>
Business Architect	0.50	1.00	1.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.98	0.61
QA	0	0	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.98	0.31
SW Engineer	0	0	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.41	0	0.27
Systems Analyst	0.50	1.00	1.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.98	0.55

## 使い慣れたインタフェースで楽に操作

リソース管理は簡単であることが重要なため、使い慣れたインタフェースを使用して、習熟に時間がかからないようにする必要があります。多くの企業では Excel に馴染みがありリソースの追跡にも既に使用されているため、CA は Excel に似たインタフェースを備えたツールを設計し、ユーザが期間や投資の表示間で割り当ての切り取り、コピー、貼り付けを行えるようにしています。ドラッグ・アンド・ドロップ機能でプロジェクトの人員を配置できるため、マネージャはすぐに全力でプロジェクトを進めることが可能です。

## あらゆる角度からの可視性でアジャイル・ビジネスに対応

現在の企業は変化する市場の状況に迅速に対応できなければなりません。それには各プロジェクトが具体的にどのような状況にあるかを、リアルタイムにビジネス用語で理解できることが必要です。CA Agile Central (旧 Rally) と CA PPM の統合は、アイディエーションからデリバリーまでプロジェクトの全範囲を包括的に可視化します。企業全体からデータを集約することで、投資したプロジェクトについてビジネス部門のユーザが把握できない場合に起きる混乱を回避できます。チームがプロジェクトをどのように完成させているか、スタッフが何に取り組んでいるかを今ではリアルタイムで評価できるようになりました。また、資金調達の条件がいつ変化したかの特定や、プロジェクトに影響する可能性がある問題についてのアラート通知もリアルタイムで行えます。

CA PPM のお客様が CA Agile Central から得られるもの	CA Agile Central のお客様が from CA PPM から得られるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェアの資産化</li> <li>ポートフォリオの可視性</li> <li>1つの資金調達モデル</li> <li>予算管理</li> <li>人員数の可視性</li> <li>実行のROI</li> <li>エンドツーエンドの企業レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告の負担の回避</li> <li>ビジネス戦略に対するチームの透明性</li> <li>ワークスペース全体の可視性</li> <li>企業内のアジャイルな拡張</li> <li>アジャイル開発のリスク軽減</li> <li>意思疎通不足の解消</li> <li>二重の報告の防止とアジャイルの価値に関する質問への回答</li> </ul>

## CA PPM + CA Agile Central = 部門の枠を超えた価値

リソース・マネージャ、財務マネージャ、プロジェクト・マネージャにとって、この統合は真の価値を提供します。

PPM の時間管理モジュールは CA Agile Central のユーザ・エクスペリエンスに直接統合され、作業時点でデータを取得できるため、PM はより正確なデータを使用してポートフォリオを管理できます (開発者はタイムシートへの入力にかかる多くの時間を節約できます)。これは PM が予算をより効果的に管理し、アジャイル・イニシアチブによるポートフォリオへの貢献を把握して、エンドツーエンドの企業レポートを作成するために役立ちます。

CA PPM がビジネスにどう役立つかについての詳細は、[ca.com/jp/ppm](https://ca.com/jp/ppm) をご覧ください

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーションケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については [ca.com/jp](https://ca.com/jp) をご覧ください。